

第5期決算公告

貸借対照表

平成23年3月31日現在

楽天投信投資顧問株式会社

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
【流動資産】	119,862	【流動負債】	25,598
現金・預金	92,367	預り金	4,280
前払費用	354	未払金	2,000
未収委託者報酬	16,492	未払費用	14,698
未収運用受託報酬	2,475	未払法人税等	1,926
未収収益	3,151	その他	2,252
立替金	4,093	一年以内返済リース債務	441
その他	926	【固定負債】	888
【固定資産】	65,143	繰延税金負債	6
【有形固定資産】	10,910	リース債務	882
建物	8,156	負債合計	26,486
器具備品	2,754	純資産の部	
【無形固定資産】	1,160	【株主資本】	158,510
ソフトウェア	1,160	【資本金】	150,000
【投資その他資産】	53,071	【資本剰余金】	629,716
投資有価証券	50,015	資本準備金	400,000
長期前払費用	3,056	その他資本剰余金	229,716
		【利益剰余金】	△ 621,205
		【その他利益剰余金】	△ 621,205
		繰越利益剰余金	△ 621,205
		【評価・換算差額等】	8
		その他有価証券評価差額金	8
		純資産合計	158,519
資産合計	185,005	負債・純資産合計	185,005

《 個別注記表 》

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

①有価証券

◇その他の有価証券

時価のあるもの

当会計期間末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定）を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産除く）

定率法を採用しております。なお、主な耐用年数は、以下の通りであります。

建物	10～18年
器具備品	3～20年

また、取得価額が100千円以上200千円未満の減価償却資産につきましては、3年均等償却によっております。

② リース資産（所有権移転外ファイナンス・リース取引にかかるリース資産）

リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法によっております。

③ 無形固定資産

定額法によっております。

ただし、自社利用のソフトウェアは、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

④ 長期前払費用

定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権等の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上することとしております。

② 賞与引当金

従業員への賞与の支払いに備えるため、従業員に対する賞与の支給見込額のうち、当事業年度に帰属する額を計上しております。

- (4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
消費税等の処理方法
消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 重要な会計方針の変更

◇資産除去債務に関する会計基準の適用

「資産除去に関する会計基準」（企業会計基準 18 号平成 20 年 3 月 31 日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 21 号平成 20 年 3 月 31 日）を当事業年度より適用しております。

これによる当事業年度の計算書類に与える影響はありません。

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

- (1) 当事業年度の末日における発行済株式の種類及び総数

発行済株式	当事業年度末株式数
普通株式	13,000 株
計	13,000 株

- (2) 当事業年度の末日における自己株式の種類及び株式数

該当事項はありません。

- (3) 当事業年度に行った剰余金の配当に関する事項

該当事項はありません。

- (4) 当事業年度の末日における当社が発行している新株予約権

該当事項はありません。